

2002 春日井市民第九演奏会



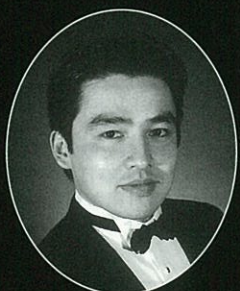
指揮
ジョアッキーノ・ロンゴバルディ



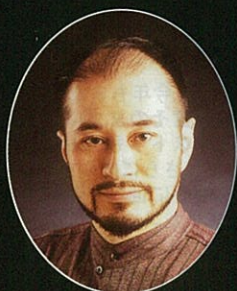
ソプラノ
並河 寿美



アルト
児玉 裕子



テノール
小貫 岩夫



バス
片桐 直樹

と き **2002年12月1日** (日) 午後3時開演
(午後2時開場)

ところ **春日井市民会館**

入場料 **1,000円 (全自由席)**

指揮 ジョアッキーノ・ロンゴバルディ
ソプラノ 並河 寿美 テノール 小貫 岩夫
アルト 児玉 裕子 バス 片桐 直樹
管弦楽 春日井市交響楽団 合奏指揮 加藤莞二
合唱 春日井第九合唱団 合唱指揮 吉川 朗
曲 目 ベートーヴェン作曲
交響曲 第9番 二短調 作品125「合唱付」

■ チケット取扱い場所(発売日10/2(水)より) ■

春日井市民会館・文化フォーラム春日井2F文化情報プラザ・春日井市役所2F情報コーナー・春日井市内各ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)・坂下公民館・清水屋案内所・サンマルシェ案内所・ルネック7F管理事務所

主催/春日井市・(財)かすがい市民文化財団・春日井市教育委員会
2002春日井市民第九演奏会実行委員会

共催/春日井市交響楽団・春日井第九合唱団

後援/中部大学・中日新聞社

お問い合わせ先

2002春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111
文化フォーラム春日井・文芸館 ☎0568-85-6868

指揮者 ジョアッキーノ・ロンゴバルディ Gioacchino Longobardi

華麗な指揮法とダイナミックな音楽作りで、いま、もっとも注目を集めているナポリ出身の指揮者です。7歳のジョアッキーノは、父からピアノを学びました。ナポリのサン・ビエトロ音楽院に進み、ピアノと宗教音楽と合唱指揮のディプロマを取り、ナポリ音楽院では作曲を専攻しました。ザルツブルクのモーツァルト研究所でカラヤンから指揮を学びました。その

後、指揮者としてヨーロッパ各地に招かれ、1992年からはアメリカでも活躍。ナポリとスイスとアメリカで定期的に演奏会を開いています。世界各地で指揮しながらも、現在、ニューヨークを拠点に、生涯の課題である18世紀のナポリ音楽の復活に取り組んでいます。春日井市民第九演奏会実行委員会の招きで初来日。

ソプラノ 並河 寿美

Hisami Namikawa

大阪音楽大学音楽学部卒業。専攻科・大学院オペラ研究室修了。門田泰子、田原祥一郎の両氏に師事。こうべ市民音楽祭大賞。全日本学生音楽コンクール大阪大会第1位。「フィガロの結婚」の伯爵夫人、「コシ・ファン・トゥッテ」のフィオルディリージとドラベッラ、「カルメン」のミカエラ、「カヴァレリア・ルスティカーナ」のサントウツァなど多数に出演。さらに、ルーマニアのトゥルグ・ムレシュ市で開催された『冬の音楽祭』に「カヴァレリア・ルスティカーナ」(演奏会形式)のサントウツァで出演。「第九」

をはじめ、モーツァルトの「レクイエム」「戴冠式ミサ」「ミサ・プレヴィス」。フォーレの「レクイエム」、オルフの「カルミナ・ブラーナ」ほかのソリストをつとめる。現在、二期会会員。垂水区音楽協会、西宮音楽協会、神戸音楽家協会各会員。兵庫県立西宮高等学校音楽科非常勤講師。大阪城南女子短期大学非常勤講師。今年9月には、ヴェルディの「ドン・カルロ」のエリザベッタ役で出演予定。

アルト 児玉 裕子

Yuko Kodama

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。1985年に関西二期会でオペラデビュー以降、オペラ歌手として様々な役柄にオリジナリティー溢れる的確な個性を演じ分け好評を博す。「コシ・ファン・トゥッテ」のドラベッラ、「ラインの黄金・ワルキューレ」のフリッカ、「ナクソス島のアリアドネ」の作曲家、「こうもり」のオルロフスキーなど、レパートリーは30役に及び、特に1996年「カルメン」のタイトルロール・カルメン役では、高い歌唱力と優美な舞台姿で観客を魅了した。またソリストとしては「第九」「メ

サイア」「レクイエム」などをはじめとして現代作品の初演や各種演奏会でも幅広く演奏活動が続けている。1999年ドイツ歌曲による「演連コンサートOSAKA・児玉祐子メゾ・ソプラノリサイタル」を開催。その業績により平成11年度大阪文化祭賞奨励賞を受賞。現在・京都女子大学・大阪女子学園高等学校非常勤講師、関西二期会会員・理事、日本シュベルト協会会員、日本演奏連盟会員。

テノール 小貫 岩夫

Iwao Onuki

北海道小樽市出身。同志社大学神学部を卒業後、大阪音楽大学首席卒業。オペラ研修所第11期修了。1998年度文化庁派遣芸術家在外研修員として1年間ミラノに留学。飯塚新人音楽コンクール大賞(文部大臣奨励賞他)、第5回コンセル・マロニエ21最優秀賞受賞。音大在学中の1995年に抜擢され、「魔笛」のタミーノでテオ・アダムと共演しデビュー(堺シティオペラ)。この成功により翌年同役でケムニッツ市立歌劇場(ドイツ)に招聘出演。日生劇場、東京室内歌劇場、びわ湖ホールなどに出演。

2002年1月には三枝成彰作曲オペラ「忠臣蔵」に岡野金右衛門役で出演し新国立劇場へ主役デビューを飾った。「第九」の他、「メサイヤ」、「レクイエム」(ヴェルディ、モーツァルト)などの宗教曲も歌っている。指揮者では若杉弘や大野和士をはじめとする多くの指揮者と共演。林誠、故疋田生次郎、松本美和子、V・テッラノーヴァ、R・ネーグリの各氏に師事。二期会、日伊音楽協会、堺シティオペラ各会員

バス 片桐 直樹

Naoki Katagiri

京都教育大学音楽科卒業。東京芸術大学大学院オペラ科修了。1988年関西二期会オペラ公演(ドン・ジョヴァンニ)で、レボレッコ役でデビュー。歌唱、演技ともに高い評価を得る。関西二期会を中心に(愛の妙薬)「ラインの黄金」《フィガロの結婚》《蝶々夫人》《ラ・ボエム》など、数々のオペラ公演に出演し、明るく気品のある声質と端正な音楽性、存在感のある演技力で好評を博す。年末のベートーヴェン《第九》のバリトン・ソロとして各方面で活躍している他、バッハの《マタイ受難曲》をはじめ、

ヘンデルの《メサイア》、ヴェルディ《レクイエム》など、バロックから現代に至るまで、オラトリオや宗教曲などのソリストとして、著名指揮者やオーケストラとの共演も多い。先の「市民オケ・フェスタ in Kasugai: オペラってなに?」(8月25日)に《魔弾の射手》のカスバル役で出場。春日井デビューを成功で飾る。福島慶子、喜多村彰、木川田澄、中山悌一、原田茂生の各氏に師事。関西二期会会員。京都音楽家クラブ会員。相愛大学講師。

管弦楽 春日井市交響楽団

市民オケである春日井市交響楽団は、「市民が演奏し・市民が聴く、春日井市民のオーケストラ」として、また、「春日井第九のオーケストラ」として、市内の音楽愛好家を中心に、1990年(平成2年)11月に創立されました。愛称「カポ」(KAPO)は英字名称「KASUGAI CITY PHILHARMONIC ORCHESTRA」の頭文字をとったもので、イタリア語の「カポ」(capo 頭・先頭に立つ者)の思いもあります。毎年、7月の定期演奏会と12月の「春日井市民第九演奏会」を中心に、数多くのオーケストラ活動を行っています。この8月には「2002市民オケ・フェスタ in kasugai: オペラってなに?」

に参加。オペラにも自信をつけてきました。団員は、会社員・公務員・教員・医師・主婦・学生・自営業者などの60名。私たちにとって、最大の喜びは、一人でも多くのおみなさまに演奏会においていただき、クラシック音楽を好きになっていただくことです。そのために、「名曲の名演奏」を心掛けています。これからも、愛環音楽連盟の一員として、市民音楽活動をつづけて参ります。温かいご支援をお願いいたします。

(団長・花村浩克)

合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年は、市民の手によるベートーヴェンの「第九演奏会」の春日井初演によって盛大に祝われました。この演奏会を記念して作られたのが、「春日井第九合唱団」です。以後、毎年12月には、新しく募集した市民も加わって、220名を越すメンバーが常に新鮮なベートーヴェンの「第九交響曲」を歌い継いできています。創立以来、ベテランの吉川朗先生をはじめ、多くの優れた音楽家のご指導で、技術的にも、音楽的にも、完成度の高い「第九」演奏を心掛けています。平成7年からは、

年末の「第九」の本練習に入る前に、特別練習として数々の合唱作品に挑戦しています。また、愛環音楽連盟にも加入して、この9月に開かれた第4回愛環音楽祭で歌う「カルメン」の度胸試しとして、本年6月29日(土)に文化フォーラム春日井の交流アトリウムで上演しました。また、第10回になる今年の「第九」は、イタリアのロンゴバルディさんの指揮で、さらに美しいベルカントな演奏が出来るものと張り切っています。ご期待下さい。

(団長・荒川昭代)

さあ、年末恒例の「春日井市民第九演奏会」です。今年で、ちょうど第10回を迎えますが、なぜ、寒い12月にベートーヴェンの「第九交響曲」を演奏するかといえば、「寒気之歌」があるからです。寒い中ですが、この一年を感動で終えるために、ぜひ、春日井市民による「第九」演奏会にお出かけ下さい。

合唱団は、市民のおみなさまの参加で、いつも200名を越えます。会場中に響き渡る歌声は、今年もまた、「愛こそ歓喜!」と圧倒的な迫力をもってみなさまに迫ることでしょう。アンコールではいつも、演奏の興奮そのままに、ステージと客席が一緒になって、この「愛こそ歓喜」を歌います。まさに、1304人の大合唱です。オーケストラも、おなじみの市民オケ「春日井市交響楽団」です。ここ数年、オペラやジョイントなどの大きな演奏会に出場して、さらに成長をつけています。例年にも増して、表情豊かで、情感に満ちた音楽をご期待下さい。指揮は、アメリカを中心に世界で活躍中のイタリア人ロンゴバルディさん。ソリストもまた、現在望みうる最高のベテラン・メンバーとなりました。

なんといっても、「第九」は、聴く人の心をつにします。ご家族で、お仲間で、ぜひ、おいで下さい。きっと、そろって幸せな新年を迎えることができるでしょう。

(音楽監督 都築正道:中部大学教授)